

山陽小野田市長 藤田 剛二 様

安心して住み続けられる出合のまちづくりについて

市長と出合校区住民との懇談会（要望書）

春暖の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

2 月にはデマンド交通など中山間地でも安心して住み続けられるための公共交通の要望について直接対応して頂き、その後の政策でも前進が伝えられ嬉しく思っています。

ところが3月議会の新年度予算で出合保育園など山陽地区3保育園を廃止し、厚狭駅南部に統合保育所を新設するための高額予算等が賛成多数で議決されました。

出合保育園廃止を全く知らなかった地区民の声で議会審議直前に市議会へ市民懇談会を申し込み、4月13日に民生福祉常任委員会7名全員、デマンド交通に関して産業建設常任委員会正副委員長など3名、合計10名のご参加を得て開催しました。

懇談会では「説明会案内は廃止等の記載も無い班回覧だったので誰も見た記憶はない」「保育所再編基本計画は住民の声を全く聴かず執行部だけで作成」「その説明会は廃止対象の出合地区では開かず厚狭地区複合施設」「複合施設での説明会参加者14名の内、出合地区や下津地区参加者について主催者は把握すらしていない。出合地区民は別途案内で参加した校区協議会会長以外0の可能性」「同じく廃止対象の津布田地区での説明会参加者は4名」等々、市政の重大案件にも関わらず校区民無視でどんどん進められた執行部の提案及び、それをチェックすることが出来なかった議会に対し、自治会協議会会長名による開催案内の班回覧で集まった50名以上の地区民からは10名以上の方々から次々と怒りや質問、真剣な訴えが出されました。しかし議員からは「執行部にしっかり伝える」としか対応出来ず2時間の懇談会は一応閉じました。そこで参加者の多くから議会も大切だが市長と直接懇談の場を設定して欲しいとの要望が強くあり市長と校区住民との地元での懇談会開催申し入れとなったものです。ご多用の事とは存じますがよろしくお願い申し上げます。

平成30（2018）年4月16日

出合校区自治会協議会会長 大森 弘文

回覧								
----	--	--	--	--	--	--	--	--

様式第2号(第3条関係)

平成30年(2018年)4月27日

出合地区自治会協議会
会長 大森弘文様

山陽小野田市長 藤田剛二

山陽小野田市まちづくり懇談会開催通知書

平成30年4月16日付けで申込みのあったまちづくり懇談会の開催について、下記のとおり決定したので通知します。

① 以下のとおり開催します。

相手方	出合地区自治会協議会(出合校区住民)
日時	平成30年5月15日(火)18時～
場所	出合公民館 講堂(2階)
テーマ	出合保育園の統廃合について
備考	<p>*開催時間は2時間程度とさせていただきます。</p> <p>*市出席者 福祉部長、福祉部次長兼高齢福祉課長、 福祉部次長兼国保年金課長、 子育て支援課長、子育て支援課課長補佐、 市民部次長兼市民生活課長、市民生活課課長補佐</p>